

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problems Mailbox.**



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number: 09034841
 (43)Date of publication of application: 07.02.1997

(51)Int.Cl.

G06F 15/00
 G06F 1/00
 G06F 9/06
 G06F 12/14
 G06F 13/00
 G09C 1/00
 G09C 1/00
 H04L 9/10
 H04M 11/08

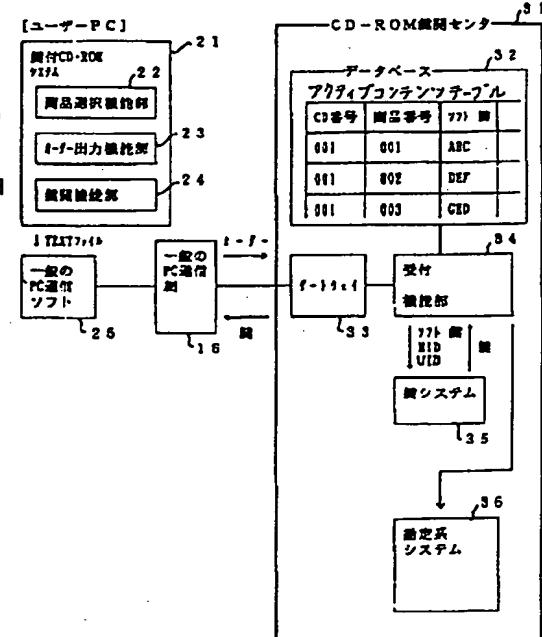
(21)Application number: 07186038
 (22)Date of filing: 21.07.1995

(71)Applicant: FUJITSU LTD
 (72)Inventor: OKI HIROSHI
 TANIGAWA KIYOSUMI
 KAMATA SHINJI

(54) ON-LINE CIPHERING RELEASING SYSTEM OF STORAGE MEDIUM AND ITS METHOD

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To release ciphering of a software in on-line to sell information in a storage medium such as a CD-ROM distributed to the user.
SOLUTION: The user loads a distributed keyed CD-ROM to a keyed CD-ROM system 21, an article selection function section 22 selects a software article, and an order output function section 23 generates an order use text file. Then a CD-ROM key open center 31 is accessed via a PC-communication network 16 and a gateway 33 and gives a text file to order an article. A reception function section 34 retrieves a CD number and an article number of an active contents table and reads a corresponding software key. A key system 35 generates a key number of the order article from the read software key and a MID described in the text file. The generated key number is reported to the user via a PC communication network 16, a key function section 24 uses it to open the key of the article in the CD-ROM. Thus, the information in the CD-ROM is on sale in on-line.



(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-34841

(43)公開日 平成9年(1997)2月7日

(51)Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 15/00	3 3 0	9364-5L	G 0 6 F 15/00	3 3 0 Z
1/00	3 7 0		1/00	3 7 0 F
				3 7 0 E
9/06	5 5 0		9/06	5 5 0 A
12/14	3 2 0		12/14	3 2 0 B

審査請求 未請求 請求項の数23 O L (全 28 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号 特願平7-186038

(22)出願日 平成7年(1995)7月21日

特許法第30条第1項適用申請有り 平成7年7月7日発行の日本経済新聞に掲載

(71)出願人 000005223

富士通株式会社
神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番
1号

(72)発明者 沖 宏志

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地
富士通株式会社内

(72)発明者 谷川 清純

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地
富士通株式会社内

(72)発明者 鎌田 紳二

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地
富士通株式会社内

(74)代理人 弁理士 大曾 義之 (外1名)

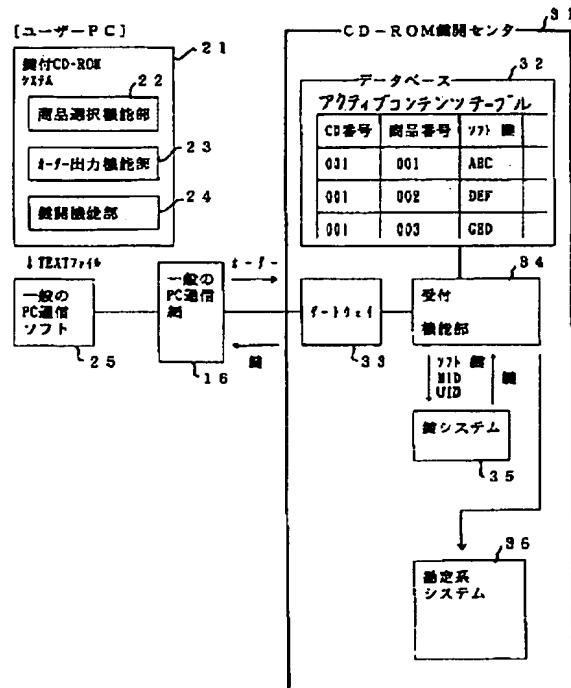
(54)【発明の名称】 記憶媒体のオンライン暗号解除システムおよび方法

(57)【要約】

【目的】 ユーザに配布されたCD-ROM等の記憶媒体内的情報を販売するために、オンラインでソフトウェアの暗号解除を行うことを目的とする。

【構成】 ユーザは、配付された鍵付CD-ROMを鍵付CD-ROMシステム21に装着して、商品選択機能部22によりソフトウェア商品を選択し、オーダー出力機能部23によりオーダー用のテキストファイルを作成する。次に、PC通信網16、ゲートウェイ33を介してCD-ROM鍵開センター31にアクセスし、テキストファイルを渡して商品をオーダーする。受付機能部34は、アクティブコンテンツテーブルのCD番号、商品番号を検索し、対応するソフト鍵を読み出す。鍵システム35は、読み出されたソフト鍵とテキストファイルに記述されたMIDとから、オーダー商品の鍵番号を生成する。生成された鍵番号はPC通信網16を介してユーザに通知され、鍵開機能部24がこれを用いてCD-ROM内の商品の鍵開けを行う。このようにして、CD-ROM内の情報をオンラインで販売することが可能となる。

システム構成図



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 通信網を介してユーザ端末との間で情報の送受信を行う通信手段と、前記ユーザ端末から会話形式で受信するオーダー情報に基づいて、ユーザの記憶媒体内の暗号化された情報の暗号を、前記通信手段を介してオンラインで解除する会話手段とを備えることを特徴とするオンライン暗号解除システム。

【請求項 2】 前記会話手段は、前記オーダー情報に基づいて、ユーザの鍵付記憶媒体に格納された情報を該ユーザ端末上で取り出すための第1の鍵情報を、前記通信手段を介してオンラインで該ユーザ端末に送ることを特徴とする請求項1記載のオンライン暗号解除システム。

【請求項 3】 前記鍵付記憶媒体に格納された情報固有の第2の鍵情報を格納する情報格納手段をさらに備え、前記会話手段は、前記オーダー情報をもとに前記情報格納手段内を検索し、オーダーされた情報に対応する第2の鍵情報を取り出し、該第2の鍵情報を用いて生成された前記第1の鍵情報を前記ユーザ端末に送ることを特徴とする請求項2記載のオンライン暗号解除システム。

【請求項 4】 前記オーダー情報に含まれる前記ユーザ端末の識別情報と前記第2の鍵情報とから、前記第1の鍵情報を生成する鍵生成手段をさらに備えることを特徴とする請求項3記載のオンライン暗号解除システム。

【請求項 5】 前記オーダー情報に含まれるユーザ識別情報と前記第2の鍵情報とから、前記第1の鍵情報を生成する鍵生成手段をさらに備えることを特徴とする請求項3記載のオンライン暗号解除システム。

【請求項 6】 前記オーダー情報に含まれるユーザ識別情報と前記ユーザ端末の識別情報と、前記第2の鍵情報とから、前記第1の鍵情報を生成する鍵生成手段をさらに備えることを特徴とする請求項3記載のオンライン暗号解除システム。

【請求項 7】 前記会話手段は、前記オーダー情報を前記ユーザ端末から電子メールで受け取り、前記第1の鍵情報を該ユーザ端末へ電子メールで送ることを特徴とする請求項2記載のオンライン暗号解除システム。

【請求項 8】 前記会話手段は、前記ユーザ端末に送った前記第1の鍵情報をユーザに入力させる指示を出力し、入力された鍵情報を確認することができることを特徴とする請求項2記載のオンライン暗号解除システム。

【請求項 9】 前記記憶媒体はCD-R OMであることを特徴とする請求項1記載のオンライン暗号解除システム。

【請求項 10】 前記会話手段は、複数の項目からなる前記オーダー情報を、前記ユーザ端末からファイル形式で受け取ることを特徴とする請求項1記載のオンライン暗号解除システム。

【請求項 11】 前記会話手段は、複数の項目からなる前記オーダー情報を、前記ユーザ端末から手入力形式で

受け取ることを特徴とする請求項1記載のオンライン暗号解除システム。

【請求項 12】 前記会話手段は、前記オーダー情報の複数の項目のうち既知の項目については、前記ユーザに入力を省略させることができることを特徴とする請求項1記載のオンライン暗号解除システム。

【請求項 13】 前記記憶媒体に格納された情報毎のコメントを格納する情報格納手段をさらに備え、前記会話手段は、前記記憶媒体に格納された情報毎のメッセージを出力できることを特徴とする請求項1記載のオンライン暗号解除システム。

【請求項 14】 鍵付記憶媒体を装着する手段と、通信網を介して鍵開けセンタにアクセスし、該鍵開けセンタとの会話形式で前記鍵付記憶媒体に格納された情報を選択して、該鍵開けセンタに対してオーダー情報を出力するオーダー出力手段と、

選択された情報を前記鍵付記憶媒体から取り出すための第1の鍵情報を、前記鍵開けセンタから前記通信網を介してオンラインで受け取り、該第1の鍵情報を用いて前記鍵付記憶媒体から前記選択された情報を取り出す鍵開け手段とを備えることを特徴とする端末装置。

【請求項 15】 前記オーダー出力手段は、複数の項目からなる前記オーダー情報をファイル形式で出力することを特徴とする請求項14記載の端末装置。

【請求項 16】 前記オーダー出力手段は、複数の項目からなる前記オーダー情報を項目毎に出力することを特徴とする請求項14記載の端末装置。

【請求項 17】 前記鍵開け手段は、前記鍵開けセンタから受け取った前記第1の鍵情報が記録されたファイルを自動的に読み込んで、該ファイルから該第1の鍵情報を取り出すことを特徴とする請求項14記載の端末装置。

【請求項 18】 前記鍵開け手段は、前記鍵開けセンタから受け取った前記第1の鍵情報を自動的に前記ファイルに格納するオートバイロット手段を備えることを特徴とする請求項17記載の端末装置。

【請求項 19】 通信網を介して鍵開けセンタにアクセスし、該鍵開けセンタとの会話形式で鍵付記憶媒体に格納された情報を選択して、該鍵開けセンタに対してオーダー情報を出力するオーダー出力手段と、

選択された情報を前記鍵付記憶媒体から取り出すための第1の鍵情報を、前記鍵開けセンタから前記通信網を介してオンラインで受け取り、該第1の鍵情報を用いて前記鍵付記憶媒体から前記選択された情報を取り出す鍵開け手段とを備えることを特徴とする記憶媒体。

【請求項 20】 ユーザ端末と鍵開けセンタとを通信網で接続した通信システムにおいて、

前記通信網を介して前記鍵開けセンタにアクセスし、鍵付記憶媒体に格納された情報を会話形式で選択して、該鍵開けセンタに対してオーダー情報を送信するオーダー

出力手段と、

前記オーダー出力手段から会話形式で受信する前記オーダー情報に基づいて、選択された情報を前記ユーザ端末上で前記鍵付記憶媒体から取り出すための第1の鍵情報を、前記通信網を介してオンラインで該ユーザ端末に送信する会話手段と前記会話手段から受信した前記第1の鍵情報を用いて、前記鍵付記憶媒体から前記選択された情報を取り出す鍵開け手段とを備えることを特徴とするオンライン暗号解除システム。

【請求項21】記憶媒体を装着したユーザ端末から通信網を介してオーダー情報を受信し、該オーダー情報に基づいて、前記記憶媒体に格納された暗号化された情報の暗号を、前記通信手段を介してオンラインで解除することを特徴とするオンライン暗号解除方法。

【請求項22】鍵付記憶媒体を装着した前記ユーザ端末から受信する前記オーダー情報に基づいて、該鍵付記憶媒体に格納された情報を該ユーザ端末上で取り出すための第1の鍵情報を生成し、該第1の鍵情報を前記通信網を介してオンラインで前記ユーザ端末に送ることを特徴とする請求項21記載のオンライン暗号解除方法。

【請求項23】ユーザ端末に鍵付記憶媒体を装着し、通信網を介して鍵開けセンタにアクセスし、該鍵開けセンタとの会話形式で前記鍵付記憶媒体に格納された情報を選択して、該鍵開けセンタに対してオーダー情報を送信し、選択された情報を前記鍵付記憶媒体から取り出すための第1の鍵情報を、前記鍵開けセンタから前記通信網を介してオンラインで受け取り、該第1の鍵情報を用いて前記鍵付記憶媒体から前記選択された情報を取り出すことを特徴とするオンライン暗号解除方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、ユーザに配布した記憶媒体内のソフトウェアの暗号をオンラインで解除する暗号解除システムおよび方法に関する。

【0002】

【従来の技術とその問題点】近年、大容量記憶媒体の1つであるCD-ROM(compact disk read only memory)にプログラム、画像データ等のソフトウェアを入れて販売することが多くなっている。ユーザがCD-ROM入手するには、直接販売店で購入したり、あるいは郵送による通信販売を利用して購入する方法がある。しかしながら、前者の方法ではユーザが販売店まで出向いて行かなければならず、後者の方法ではオーダーしてから商品がユーザの手元に届くまでに一定の時間を要する。

【0003】そこで、CD-ROMをあらかじめユーザ

に配布しておくことが考えられるが、その場合どのようにして販売するかが問題となる。本発明は、ユーザに配布されたCD-ROM等の記憶媒体内の情報を販売するために、オンラインでソフトウェアの暗号を解除する暗号解除システムおよび方法を提供することを目的とする。

【0004】

【問題を解決するための手段】図1は、本発明のオンライン暗号解除システムの原理図である。図1のオンライン鍵開けシステムは、通信手段1、会話手段2、鍵生成手段3、および情報格納手段4を備える。

【0005】通信手段1は、通信網を介してユーザ端末との間で情報の送受信を行う。会話手段2は、上記記ユーザ端末から会話形式で受信するオーダー情報に基づいて、ユーザの記憶媒体内の暗号化された情報の暗号を、通信手段1を介してオンラインで解除する。

【0006】また、会話手段2は、上記オーダー情報に基づいて、ユーザの鍵付記憶媒体に格納された情報をそのユーザ端末上で取り出すための第1の鍵情報を、通信手段1を介してオンラインでそのユーザ端末に送る。

【0007】情報格納手段4は、上記記憶媒体に格納された情報固有の第2の鍵情報を格納する。会話手段2は、上記オーダー情報をもとに情報格納手段4内を検索し、オーダーされた情報に対応する第2の鍵情報を取り出す。

【0008】鍵生成手段3は、上記オーダー情報に含まれるユーザ識別情報または上記ユーザ端末の識別情報と、上記第2の鍵情報とから、上記第1の鍵情報を生成する。例えば、図1の通信手段1は、実施例の図3におけるゲートウェイ33に対応し、会話手段2は受付機能部34に対応し、鍵生成手段3は鍵システム35に対応し、情報格納手段4はデータベース32に対応する。また、例えば、記憶媒体は鍵付CD-ROMに対応し、ユーザ端末は、鍵付CD-ROMシステム21を備えるパソコン(パーソナルコンピュータ:PC)に対応する。

【0009】

【作用】図1のオンライン暗号解除システムは、例えば、通信網を介してユーザ端末と接続されたホスト計算機システムに相当し、ユーザからの希望に応じて、ユーザ端末に装着されたCD-ROM等の記憶媒体の暗号解除サービスを行う。

【0010】会話手段2は通信手段1を介してユーザ端末との間で対話を行い、ユーザが購入を希望するソフトウェアのオーダー情報を会話形式で受信する。そして、そのオーダー情報に基づいて、鍵付記憶媒体に格納されたソフトウェア(情報)を取り出すための第1の鍵情報を、オンラインでユーザ端末に送る。

【0011】これにより、ユーザは、送られた第1の鍵情報を用いてユーザ端末上でオーダーしたソフトウェアの鍵を開け、ハードディスク等にインストールすること

ができるようになる。また、ホスト計算機システムでは、ユーザの識別情報とオーダーされたソフトウェアの識別情報を記憶しておき、それらに基づいて代金を請求することが可能になる。

【0012】また、情報格納手段4が格納する第2の鍵情報は、鍵付記憶媒体に格納されたソフトウェアに固有のソフト鍵であり、アクセスしてきたユーザの識別情報やユーザ端末の識別情報には依存しない。会話手段2は、オーダー情報に含まれるソフトウェアの識別情報をもとにして、対応する第2の鍵情報を情報格納手段4から取り出し、それを鍵生成手段3に渡す。

【0013】鍵生成手段3は、会話手段2から受け取った第2の鍵情報と、オーダー情報に含まれるユーザ識別情報またはユーザ端末の識別情報とから、ユーザに通知する第1の鍵情報を合成する。こうして生成された第1の鍵情報は、第2の鍵情報をソフト鍵として持つソフトウェアを、オーダー情報を送信したユーザ端末上で読み出すために必要な複合鍵となっている。

【0014】例えば、ユーザ識別情報と第2の鍵情報から合成された第1の鍵情報を使用して鍵開けを行うと、ユーザ識別情報に対応するユーザに対して自動的に課金されるようになることができる。したがって、そのユーザ以外の他人が使用すると不具合が生じる。また、ユーザ端末の識別情報と第2の鍵情報から合成された第1の鍵情報は、対応するユーザ端末上でのみ使用することができる。したがって、同じソフトウェアを異なるユーザ端末上で読み出すために、これを使用することはできない。

【0015】こうして、ユーザは配布された記憶媒体内の希望するソフトウェアの暗号を、オンラインで解除してもらうことができる。

【0016】

【実施例】以下、図面を参照しながら本発明の実施例を詳細に説明する。図2は、CD-ROMに記憶されたソフトウェア(CD-ROMソフト)の販売形態を示している。CD-ROMソフトを販売しようとする販売会社は、CD-ROM鍵開センタ14を設け、データベース11、12、13により情報を管理する。コンテンツ提供者は販売会社と販売委託契約を結び、CD-ROMソフトの内容(コンテンツ)となる絵/写真/音楽等を販売会社に提供する。販売会社内のコンテンツ収集部門は、受け取ったコンテンツを電子情報の倉庫として使用するデータベース11に格納する。そして、販売会社は、例えば社外の企画部門による編集企画に基づいて、データベース11からコンテンツを取り出し、CD-ROM17を作成する。

【0017】こうして発刊されたCD-ROM17は、配送者によりNIFTY会員であるユーザに配布される。ユーザは、パソコン上でCD-ROM17内の商品リストを見た後、パソコン通信の通信網16、およびN

I F T Y センタ15を介して、CD-ROM鍵開センタ14にゲートウェイ接続し、商品であるCD-ROMソフトをオーダーする。CD-ROM鍵開センタ14は、オーダーされた商品の鍵をオンラインでユーザに渡すとともに、販売記録をデータベース12、13に格納する。データベース12、13は、それぞれ売上管理DB(データベース)、顧客管理DBとして使用される。ここでは、CD-ROM鍵開センタ14は、年中無休、24時間体制で稼働しているものとする。

【0018】販売会社の経理/購買部門は、データベース12内の売上情報を参照して、売上分配および経理処理を行う。このとき、コンテンツ提供者には契約に基づいてペイ・バックが行われ、コンテンツ収集部門と企画部門には編集・企画代金が計上される。図3は、図2のような販売形態を実現するためのシステムの構成図である。図3において、ユーザのパソコン(ユーザPC)には、商品選択機能部22、オーダー出力機能部23、および鍵開機能部24を備える鍵付CD-ROMシステム21が搭載される。鍵付CD-ROMシステム21は、ユーザによって鍵付CD-ROM17からユーザPCにインストールされると、そのユーザPCを特定するマシン識別子(MID)を生成し、不正コピー防止機構を付加してファイルに記録する。鍵付CD-ROMシステム21は、一般的の通信端末ソフト(PC通信ソフト)25、一般的のPC通信網16を介して、CD-ROM鍵開センタ31に接続される。

【0019】CD-ROM鍵開センタ31は、データベース32、ゲートウェイ33、受付機能部34、鍵システム35、勘定系システム36を備える。受付機能部34、鍵システム35、および勘定系システム36は、例えばCD-ROM鍵開センタ31を構成するホスト計算機のプロセッサ(不図示)の処理機能に対応している。データベース32は、アクティブコンテンツテーブル、購入履歴テーブル、アクティブ顧客テーブル、課金ログテーブル、エラーログテーブル、アクセスログテーブル等の管理テーブルを格納する。

【0020】ユーザは配付された鍵付CD-ROM17を使用して、商品選択機能部22により商品を選択し、オーダー出力機能部23によりオーダーファイルとなるテキスト(TEXT)ファイルを作成する。次に、PC通信ソフト25を用いてPC通信網16に接続し、ゲートウェイ33でCD-ROM鍵開センタ31にアクセスし、オーダーファイルを渡して商品をオーダーする。このとき、ユーザは、CD番号、商品番号とともに、ユーザ識別子(UID)およびMIDを暗号化して、CD-ROM鍵開センタ31に通知する。これらの番号と暗号化されたUID、MIDは、鍵付CD-ROMシステム21によってオーダーファイル内に一緒に記録されている。

【0021】CD-ROM鍵開センタ31では、受付機

能部34が受け取ったオーダーファイルに従い、アクティブコンテンツテーブルのCD番号、商品番号を検索し、対応するソフト鍵を読み出す。次に、読み出したソフト鍵とオーダーファイルに記述されたUIDおよびMIDとを、鍵システム35に渡す。鍵システム35は、ソフト鍵をUIDとMIDのいずれか片方、あるいは両方を用いて暗号化し、オーダー商品の鍵番号を生成する。そして、受付機能部34は、鍵システム35が生成した鍵番号をPC通信網16を介してユーザに通知する。勘定系システム36は、受付機能部34と連携して商品の代金に関する計算処理を行う。

【0022】一方、ユーザは、CD-ROM鍵開センタ31から通知された鍵を記憶しておき、鍵付CD-ROMシステム21の鍵開機能部24を用いて、CD-ROM17内の商品の鍵開けを行う。このとき、鍵開機能部24は、ユーザが入力した鍵番号をユーザのUIDとユーザPCのMIDで復号し、オーダー商品のソフト鍵入手して商品を復号した後、ユーザPCに導入する。これにより、はじめてユーザは商品をインストールし、使用することが可能となる。

【0023】このように、ソフト鍵をユーザPCのMIDで暗号化しておけば、その鍵はMIDに対応するユーザPC上でしか使用することはできない。したがって、他のパソコン上で不正に使用されることが防止できる。また、ソフト鍵をUIDで暗号化しておけば、その鍵が使用された時に、UIDをもとに商品の代金を自動的にユーザに課金することができる。このことをあらかじめ各ユーザに通知しておけば、他のユーザに不正に転用されることが防止できる。さらに、MIDとUIDの両方で暗号化しておけば、これらの両方の防止効果が期待できる。

【0024】図4、5、6はCD-ROM鍵開センタ31によるCD-ROM鍵開処理のフローチャートであり、図7、8、9、10、11は一般のPC通信ソフト25でアクセスした時のユーザPCの画面イメージを示している。ここでは、PC通信ソフト25の一例として秀TERMを用いている。

【0025】図4において処理が開始されると、受付機能部34は、まずユーザID(UID)をチェックする(ステップS1)。そのユーザIDに対応するアクティブ顧客テーブルの与信フラグがBなら、そのユーザはブラックリスト上の顧客であるので、メッセージを出してEXITする(ステップS2)。そうでなければ、ソフトの購入か、既購入ソフトの表示か、EXITかをユーザに問い合わせる(ステップS3)。

【0026】ここでは、例えば図7のような画面が表示される。図7においては、まずメニューからユーザが、CD-ROMソフトの販売サービスに対応するMedia Shuttleを選択し、Media Shuttle開始のメッセージに続いて、導入キーNo.の取得、作品の一覧表示、および終

了の3つの選択肢が表示される。

【0027】次に、ユーザがEXITを選択すると処理を終了し、既購入ソフトの表示を選択すると、そのユーザが過去に購入したソフトを最新のものから10行ずつ表示する(ステップS4)。そして、ユーザが途中で止めない限り、最後まで表示する。ユーザが購入を選んだ場合は、オープニングメッセージを出力し(ステップS5)、オーダーファイルの入力条件を確認する(ステップS6)。

【0028】ユーザが入力方法としてアップロードを選択すると、入力を促すメッセージを出力し(ステップS7)、入力終了待ちをする(ステップS8)。そして、入力が終了すると、バース処理を行って入力されたオーダーファイルを解読する(ステップS9)。バース不可能の時は再度入力を促す。オーダーファイル(オーダーシート)のNIFTY-IDとログインNIFTY-IDが異なる場合は、メッセージを出して*START(ステップS3)にもどる。ここで、ログインNIFTY-IDとは、NIFTYセンタ15にログインした時にユーザが受け取る識別子を指す。

【0029】ユーザが入力方法として手入力を選択すると、入力を促すメッセージを出力し(ステップS10)、ユーザがメッセージを確認すると(ステップS11)、次の入力を促すメッセージを出力する。このような処理を、必要な項目の入力がすべて終了するまで繰り返す。このとき、オーダーシートのNIFTY-IDとログインNIFTY-IDが異なる場合は、メッセージを出して*STARTにもどる。また、アクティブ顧客テーブルを見て、そのユーザが既アクセス者の場合は、名前や電話番号等の既知情報を表示し、その入力を省略させることもできる。

【0030】図7では、テキストアップロードが選択され、例えば図8に示すような導入ファイルがオーダーファイルとして、テキストモードでアップロードされる。図8において、NIFTY-IDがUIDに対応し、CD番号は配布したCD-ROMの識別番号を表し、アクセス番号はユーザPCのMIDのミキシング結果(暗号化されたMID)を表し、作品番号1および作品番号2はオーダーする商品番号を表す。また、オーダーファイルの表示に続いて、ユーザがオーダーファイルの修正を選択し、名前を一部修正している。

【0031】次に、受付機能部34はアンケートデータの入力をユーザに指示する(図5、ステップS12)。ただし、アンケートデータの入力は、各ユーザの最初のアクセス時のみでよい。そして、オーダーシートの内容を確認する(ステップS13)。

【0032】図9は、アンケートデータの入力の例を示している。図9では、生年月日、性別、使用パソコンの機種、クレジットカードの種別がアンケートデータとして入力され、オーダーされた2つの商品のうち、最初の

作品番号の確認が行われている。

【0033】次に、受付機能部34はオーダー商品の合計金額を計算し（ステップS14）、アクティブコンテンツテーブルによるオーダーシートのチェックを行う（ステップS15）。その結果、販売形態違反があった場合はエラーとしてエラーメッセージを出力し、再度入力かEXITを選択させる（ステップS16）。そして、エラーログテーブルにエラーログを出力する。再度入力する場合、單一オーダーの時は*STARTにもどり、複数ORDERの時はNG分をスキップする。例えば、オーダー商品がアクティブコンテンツテーブルに登録されていない時は、「該当のソフトはありません。」というエラーメッセージが出力され、緊急停止フラグがあつたら、「該当のソフトは現在取り扱っていません。」というエラーメッセージが出力される。また、オーダー商品が販売開始/終了期間内にない時は、「該当のソフトは期限外です。」というエラーメッセージが出力される。ただし、該当のソフトがない時でも、再販区分が”1”で、なおかつ再販期間内であれば、正常系にもどる。

【0034】次に、与信フラグが”0”または”1”であれば、アクティブ顧客テーブルを参照して、課金上限(MAX)をチェックする（ステップS17）。最初のNGの場合はメッセージを出して*STARTにもどり、2回目以降のNGの場合は課金ログ出力処理にジャンプする。

【0035】次に、アクティブ顧客テーブルを更新する（ステップS18）。ここでは、NIFTY-IDをKEYとして、アクティブ顧客テーブルをアップデートする。そして、受付機能部34からの指示により、鍵システム35がユーザに渡す鍵を生成する（図6、ステップS19）。アクセス番号不良等により鍵が生成できない場合は、エラーメッセージを出力し、再度入力かEXITを選択させる（ステップS20）。そして、エラーログテーブルにエラーログを出力する。再度入力する場合、單一オーダーの時は*STARTにもどり、複数ORDERの時はNG分をスキップする。

【0036】次に、受付機能部34は購入履歴テーブルを更新し（ステップS21）、ユーザに生成した鍵を通知して（ステップS22）、課金ログテーブルを更新する（ステップS23）。ただし、与信フラグ=Tの場合は、課金ログテーブルを更新しない。

【0037】次に、通知した鍵をユーザに確認させ（ステップS24）、オーダーシートに記された次の商品について、ステップS13以降の処理を繰り返す。何等かの事情でユーザが途中で購入を断念する場合は、「課金はされる。XXXX（システム運用者のNIFTY-ID）あてに電子メールを」というエラーメッセージを出力し、エラーログテーブルにエラーログを出力する（ステップS25）。複数オーダーの場合は、ユーザがここ

で抜けることもできる。

【0038】図9で確認した作品番号の商品に対しては、図10に示す導入キーNo.が鍵としてユーザに通知される。図10では、ユーザが確認のため通知された導入キーNo.を鍵開機能部24を用いて入力し、CD-ROM鍵開センタ31の受付機能部34がそれを確認している。続いて、2番目の作品番号の確認が行われ、対応する導入キーNo.が通知されている。

【0039】オーダーシートに記されたすべての商品について鍵の通知と確認が終了すると、次に、メッセージ（購入伝票）を出力し（ステップS26）、終了メッセージを出力して（ステップS27）、*STARTにもどる。そして、ステップS3でユーザがEXITを選択すると処理を終了する。

【0040】図11は、購入伝票および終了メッセージの表示例を示している。図11において、鍵の代金（導入代金）はNIFTY-SERVEの使用料金に加算されることが明示されている。

【0041】ステップS6で、商品のオーダーシートをアップロードという方法ではなく、手で直接入力することをユーザが選択した場合は、ユーザPCの表示画面は図12、13、14に示すようになる。図12、13において、NIFTY-ID、ユーザの名前、CD番号、アクセス番号、生年月日、性別、使用パソコンの機種、クレジットカードの種別、オーダーする作品番号が順に会話形式で入力されている。そして、入力されたCD番号、作品番号、およびアクセス番号に応じて、導入キーNo.が図14のように通知される。

【0042】このとき、既にアクセスしたことのあるユーザの場合は、図15に示すように既知情報の入力作業が省略される。図15においては、PC通信IDであるNIFTY-IDだけを入力させて、名前、住所、CD番号、アクセス番号は、既入力のものを表示している。そして、ユーザが作品番号を入力・確認すると、図14と同様にして導入キーNo.が通知される。

【0043】図3のシステムにおいては、オーダーを一般のPC通信により処理しているが、代わりに電子メールシステムで処理することもできる。この場合は、オーダー用の送信メールおよび導入キーNo.通知用の受信メールを、例えば図16のような形式とする。この方式によると、CD-ROM鍵開センタ31にアクセスするためにPC通信センタ（NIFTYセンタ）のメニューのTREE構造をたどる必要がなく、効率よく鍵の受渡しができる。また、図3のシステムでは、アクティブコンテンツテーブルにソフト毎の情報を格納することにより、作品番号の確認を行う際にソフト毎に個別のメッセージを出力することができる。

【0044】図17は、データベース32内のアクティブコンテンツテーブルに設けられた、ソフト毎の情報を格納するコメント欄を示している。鍵付CD-ROM1

7においては、CD-ROM編集の時点からCD-ROM配付までの間にタイムラグがあるため、その期間内にソフトがバージョンアップされる可能性がある。このような場合に、図17に示すように、「本ソフトは既にバージョンアップ済」という情報をコメント欄に書込んでおけば、そのソフトがオーダーされた時、対応するメッセージを出力することができる。例えば、図17の商品番号001がオーダーされた時には、図18に示すようなメッセージが出力される。ここで、ユーザがOKした場合には、配布された旧バージョンのソフトに対応する導入キーNo.を購入することになる。図18では、ユーザは購入を中止している。

【0045】導入キーNo.が通知される前に表示されるソフト毎の情報としては、他に、「バグがあります。それでもよろしければ購入願います。」、「このソフトを購入されるのは2回目です。それでもよろしければ購入願います。」などがある。

【0046】本実施例において、図6のステップS24で通知した鍵番号の確認を行うのは、ユーザが鍵番号を誤って記憶することを防ぐためである。この鍵確認の入力画面を再び図示すると図19のようになる。例えば、ユーザが導入キーNo.を誤ってメモした場合には、確認のため入力した導入キーNo.が通知されたものと異なるため、受付機能部34が誤りを検出することができる。

【0047】以上の実施例では、ユーザは、CD-ROM鍵開センタ31から通知された鍵をメモし、それをキーボードから鍵付CD-ROMシステム21に入力して、鍵開機能部24にCD-ROMの鍵開けを行わせる。しかし、この方法では鍵番号を一旦メモ用紙等にメモしなければならない。その代わりに、CD-ROM鍵開センタ31から通知された鍵をユーザがファイルに記録することにより、鍵開機能部24がそのファイルを自動的に読み込んで、商品の鍵開けを行う構成にすることもできる。

【0048】図20は、CD-ROM鍵開センタ31から通知された情報を記録したTEXTファイルの例を示している。ユーザは、PC通信ソフト25の持つ通信ログの一部をファイルに書き出す機能を用いて、図20のようなTEXTファイルを作成し、鍵開機能部24はTEXTファイルに記述された導入キーNo.を自動的に読み取って、CD-ROMの鍵開けを行う。

【0049】また、CD-ROM鍵開センタ31から通知された鍵をユーザがファイルに記録する代わりに、PC通信ソフト25が通信ログの内容を自動的にファイルに格納する構成も可能である。この場合は、一般のPC通信ソフト25で用意されているオートバイロット機能を用いて、例えば図21のAからBまでをファイルに格納するオートバイロット・スクリプトを、鍵付CD-ROMシステム21内に用意する。通信ログ内におけるA、Bの位置は、それぞれ「今回のご依頼」、「導入代

金」という文字列を検索することにより、自動的に特定される。鍵開機能部24は、こうして作成されたファイルから導入キーNo.を読み取って、CD-ROMの鍵開けを行う。

【0050】この方法によれば、鍵付CD-ROMシステム21が鍵の受信と鍵開けを自動的に行ってくれるので、ユーザの負担が軽減される。次に、図3のデータベース32に格納される各種テーブルのレコードについて説明する。

【0051】図22は、アクティブコンテンツテーブルのレコードを示している。このテーブルのテーブル名はTB ACTIVE CONTENTで、ユーザから指定されたCD番号およびコンテンツ番号(商品番号または作品番号)からソフト鍵を割り出すために使用される。また、ユーザから指定されたコンテンツ番号から販売形態および価格を割り出すためにも使用される。

【0052】このテーブルの受渡し形式は1.4Mフロッピーディスク(CSV形式/SJIS)による。コンテンツ番号は、例えばTYPEとLEVELをマージしたものとする。ファイル名はCD9508.CSVとし、これで既存テーブルをアップデートする。CD番号+コンテンツ番号が連結キーとなり、一意に決まる。

【0053】図22において、受付機能部34は、価格切替え年月日を見て販売価格を決定する。価格切替え日の時刻00:00に価格を切り換える。価格切替え年月日が0の時は旧価格を使用する。

【0054】販売形態区分の内容は以下の通りである。
1:ユーザが同一ならマシンID(MID)によらず2回目以降は無料。→初回は有料。2回目は無料。以後何回やっても無料。

2:ユーザが同一ならマシンIDによらず5回目まで無料。以降禁止。

【0055】→初回～5回目まで無料。6回目は禁止。以降禁止。

3:ユーザが同一でマシンIDも同一なら2回目以降は無料。→初回は有料。2回目は無料。以後何回やっても無料。

4:ユーザが同一でマシンID同一なら5回目まで無料以降禁止。

【0056】→初回～5回目まで無料。6回目は禁止。以降禁止。

5:マシンID同一ならユーザによらず2回目以降は無料。→初回は有料。2回目は無料。以後何回やっても無料。

6:マシンID同一ならユーザによらず5回目まで無料。以降禁止。

【0057】→初回～5回目まで無料。6回目は禁止。以降禁止。

7:2回目以降は無条件に有料。→ユーザID、マシンIDによらずいつも有料。初回目も2回目も有料。

8：2回目以降は無条件に禁止。

【0058】→初回は有料。すでにそのユーザIDで導入すみならばマシンIDによらず2回目以降は禁止。

9：無料。

【0059】→ユーザID、マシンIDに係わらずいつでも無料。価格フィールドの値が0でなくとも無料にする。

10：ユーザが同一なら、マシンIDによらず2回目にはメッセージ出力して有料。

【0060】→初回はメッセージ出力しないで有料。2回目にはメッセージを表示するだけで、購入は問い合わせせない。

11：1回目の購入でも指定メッセージを出して、購入を問い合わせせる。

【0061】→ユーザID、マシンIDによらず常にメッセージを出力して、購入を問い合わせる。禁止の時は、「鍵明けできません。XXXX (XXXX=SHB00906) にメールを下さい。」というメッセージを出力する。

【0062】再販区分の内容は以下の通りである。

1：再販あり。

0：再販なし。

【0063】緊急販売停止区分の内容は以下の通りである。

1：緊急停止。

0：緊急停止なし。

【0064】図23は、購入履歴テーブルのレコードを示している。このテーブルのテーブル名はTB PURCHASE LOGで、同一NIFTY-IDまたは同一マシンIDで、複数回アクセスがあった場合のチェックに使用される。また、既購入ソフト表示の時にも使用される。尚、このテーブルは運用時に追加／削除される。図23において、購入金額は購入した時の価格が記録される。

【0065】図24は、アクティブ顧客テーブルのレコードを示している。このテーブルのテーブル名はTABLE TB ACTIVE CUSTOMERで、ログイン時のブラックリストチェックに使用される。また、キーボード入力時の補助にも使用される。例えば、2回目のアクセス時は名前等の既知情報がここから取り出される。このテーブルは運用時に追加／削除される。アクティブ顧客テーブルは、さらに月別の課金MAX値チェックに必要である。月度合計が課金リミットを超えていたらNGとする。図24において、与信フラグの内容は以下の通りである。

【0066】「B」が設定されていれば、ブラック顧客で販売禁止。「0」が設定されていれば、標準の限度額。当月累計購入額が与信枠の項目に設定されている値以下であれば販売可能。購入依頼のあった商品の合計+当月購入金額を当月累計購入額として判定する。

【0067】「1」が設定されていれば、エクゼクティブ顧客。当月累計購入額が与信枠の項目に設定されてい

る値以下であれば販売可能。プログラム処理は「0」と同様である。

【0068】「T」が設定されていれば、テスト用ID顧客。枠に制限なし。したがって、請求処理も対象外となる。また、受付機能部34は、与信切替年月日によってユーザに対する与信額を切替える。与信切替年月日の時刻00:00をもって与信額を切替え、与信切替日が0の時は旧与信額を使用する。購入金額切替日は使用せず、CRONで特定の日に、それまでの当月購入金額、前月購入金額にCOPYし、当月購入金額を0とする。また、使用機種名の数が5を超えた場合、使用機種名1のみを漸次書き換える。

【0069】図25は、課金ログテーブルのレコードを示している。このテーブルのテーブル名はTB CHARGE LOGで、このテーブルはEDPに渡される。既購入の場合は金額を-1として渡し、無料の場合は金額を0として渡す。また、このテーブルは運用時に追加／削除される。

【0070】図26は、エラーログテーブルのレコードを示している。このテーブルのテーブル名はTABLE TB ERROR LOGで、エラー監視に使用される。このテーブルは運用時に追加／削除される。

【0071】図26において、エラー理由の内容は以下の通りである。

1：ブラックリスト

2：ID違い

3：バースエラー

4：該当ソフトなし

5：課金MAX値違反

6：緊急停止アクセス

7：販売期間（再販も含む）エラー

8：販売形態違反

9：鍵生成エラー

10：鍵確認エラー

11：他システムエラー

図27は、アクセスログテーブルのレコードを示している。このテーブルのテーブル名はTABLE TB ACCESS LOGで、CD-ROM鍵開センタ31に対するアクセスの統計データ取得のために使用される。

【0072】以上の実施例においては、鍵付記憶媒体としてCD-ROMを例に取って説明したが、本発明は、販売者が鍵を掛けることのできる他の任意の記憶媒体にも同様に適用される。その場合にも、ユーザが、記憶媒体内の商品の識別子やアクセス番号等を記述したオーダーファイルを鍵開センタに送ることにより、鍵開センタから対応する鍵が通知される。他の記憶媒体としては、例えば、フロッピーディスク、メモリカード、光磁気ディスクが挙げられる。

【0073】また、鍵付記憶媒体に格納される情報は、画像データ、音楽データ、プログラム等に限られず、任

意のソフトウェア情報がその対象となる。

【0074】

【発明の効果】本発明によれば、ユーザに配布されたCD-ROM等の鍵付媒体内の情報をオンラインで販売することが可能になる。この際、ユーザは鍵開センタと対話しながら、記憶媒体内の情報の暗号解除を含むきめ細かなサービスを受けることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の原理図である。

【図2】CD-ROMソフトの販売形態を示す図である。

【図3】実施例のシステム構成図である。

【図4】CD-ROM鍵開処理のフローチャート（その1）である。

【図5】CD-ROM鍵開処理のフローチャート（その2）である。

【図6】CD-ROM鍵開処理のフローチャート（その3）である。

【図7】一般通信ソフト上の表示画面を示す図（その1）である。

【図8】一般通信ソフト上の表示画面を示す図（その2）である。

【図9】一般通信ソフト上の表示画面を示す図（その3）である。

【図10】一般通信ソフト上の表示画面を示す図（その4）である。

【図11】一般通信ソフト上の表示画面を示す図（その5）である。

【図12】手入力の場合の表示画面を示す図（その1）である。

【図13】手入力の場合の表示画面を示す図（その2）である。

【図14】手入力の場合の表示画面を示す図（その3）である。

【図15】既知情報を省略する場合の表示画面を示す図である。

【図16】送信メールと受信メールを示す図である。

【図17】ソフト毎の情報を示す図である。

【図18】バージョンアップ済みの場合の表示画面を示す図である。

【図19】鍵番号の確認のための表示画面を示す図である。

【図20】鍵番号をファイルに記録する場合を示す図である。

【図21】通信ログの内容の表示画面を示す図である。

【図22】アクティブコンテンツテーブルのレコードを示す図である。

【図23】購入履歴テーブルのレコードを示す図である。

【図24】アクティブ顧客テーブルのレコードを示す図である。

【図25】課金ログテーブルのレコードを示す図である。

【図26】エラーログテーブルのレコードを示す図である。

【図27】アクセスログテーブルのレコードを示す図である。

【符号の説明】

- 1 通信手段
- 2 会話手段
- 3 鍵生成手段
- 4 情報格納手段
- 11、12、13、32 データベース
- 14、31 CD-ROM鍵開センタ
- 15 NIFTYセンタ
- 16 PC通信網
- 17 CD-ROM
- 21 鍵付CD-ROMシステム
- 22 商品選択機能部
- 23 オーダー出力機能部
- 24 鍵開機能部
- 25 PC通信ソフト
- 33 ゲートウェイ
- 34 受付機能部
- 35 鍵システム
- 36 勘定系システム

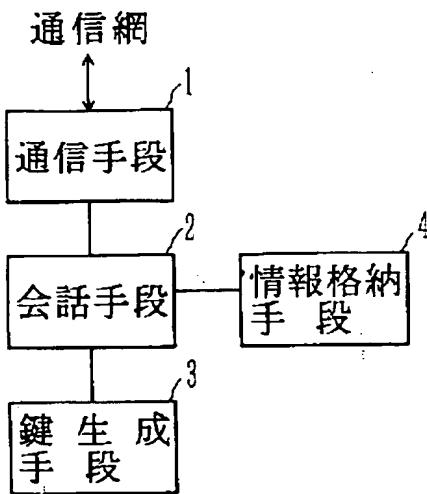
【図27】

アクセスログテーブルのレコードを示す図

レコード名 タイプ	
1 年月日:	DATE_YYYYMMDD NUMBER(8),
2 時分秒:	TIME_HHMMSS NUMBER(6),
3 NIFTY-ID:	NIFTY_ID CHAR(8),
4 セッション区分:	SESSION_CLASS CHAR(1),
5 サービスID:	SERVICE_ID NUMBER(3) /*操作の必要ななし*/

【図1】

本発明の原理図



【図23】

購入履歴テーブルのレコードを示す図

レコード名 タイプ
 1 NIFTY_ID CHAR(6),
 2 MACHINE_ID NUMBER(10),
 3 CD番号: CHAR(4),
 4 作品番号: CHAR(2),
 5 技番: CHAR(2),
 6 年月日: DATE, YYMMDD NUMBER(8),
 7 作品略称: WORK_ABBREV CHAR(60),
 8 購入金額: BUY_MONEY NUMBER(6),
 9 購入受付回数: BUY_RECEIPT_TIMES NUMBER(3), /*金額の発生しないものも含む */
 10 購入回数: BUY_TIMES NUMBER(3), /*金額の発生したものの */

【図8】

一般通信ソフト上の表示画面を示す図(その2)

導入ファイルをテキストモードでアップロードして下さい。

```

<NIFTY-ID>AAAAAAA /*NIFTY-ID*/ /*必須*/
<NAME>加藤 念 </NAME>
<ZIP>213 </ZIP>
<ADDR>川崎市高津区新作A-A-A </ADDR>
<TEL>044-777-1111 </TEL>
<CDNO>1234 </CDNO> /*必須*/
<ACCNO>0946-061-921 </ACCNO> /*必須*/
<PN0>101 </PN0> /*必須*/
<PN0>205 </PN0>
/E

```

/* 必須でないものがない場合は、<NAME></NAME>となる。 */

以下の確認をお願いします。

- (1) NIFTY-ID:AAAAAAA
- (2) お名前:加藤 念
- (3) 郵便番号:213
- (4) 住所:川崎市高津区新作A-A-A
- (5) 電話番号:044-777-1111
- (6) CD番号:1234
- (7) アクセス番号:0946-061-921
- (8) 作品番号1:101 /*ここは10行ごとに表示*/
- (9) 作品番号2:201 /*作品はMax 899 */

確認 (1:OK 2:修正 E:中止)

: 2

修正する番号を入力してください。

>2

(2) お名前:加藤 念
入力してください。

>加藤 稔

(2) お名前:加藤 稔

確認 (1:OK 2:修正 E:中止)

: 1

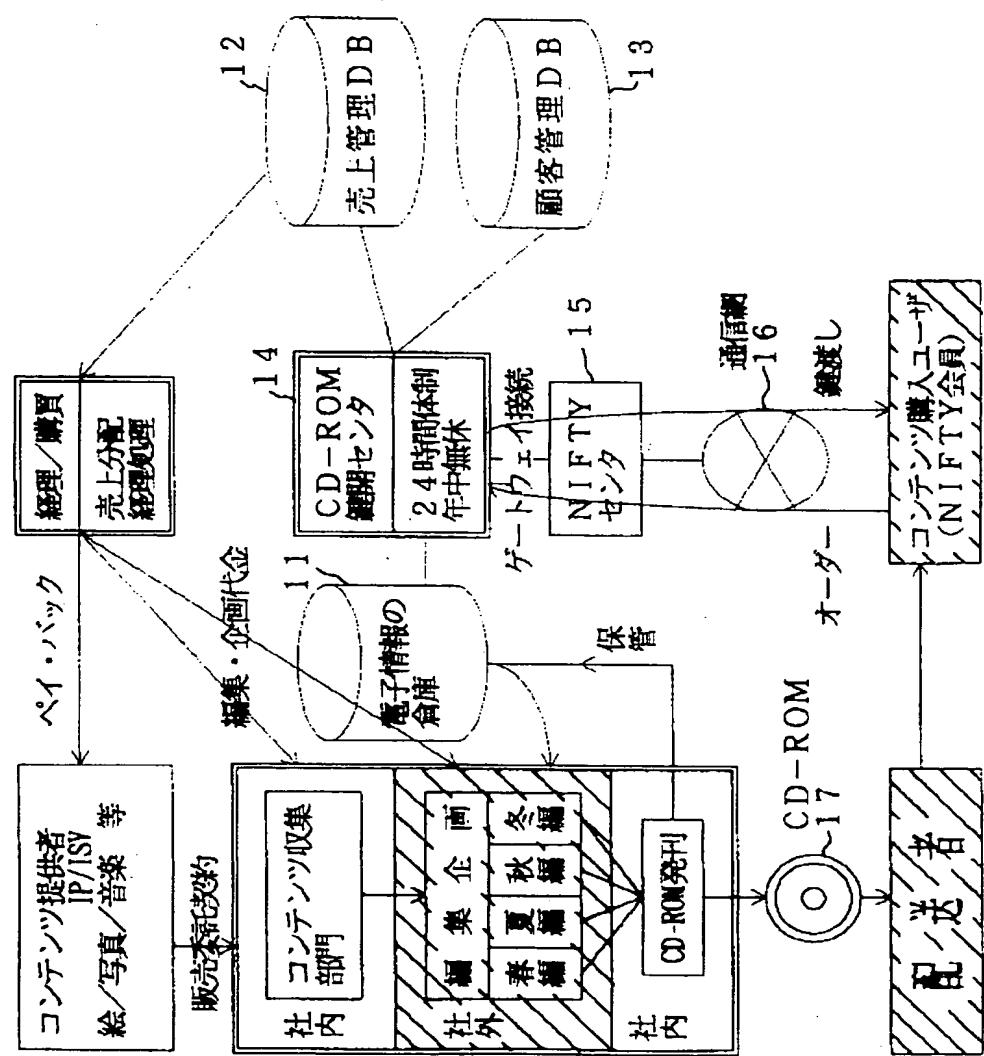
さらに修正しますか。

修正(1:しない 2:する)

: 1

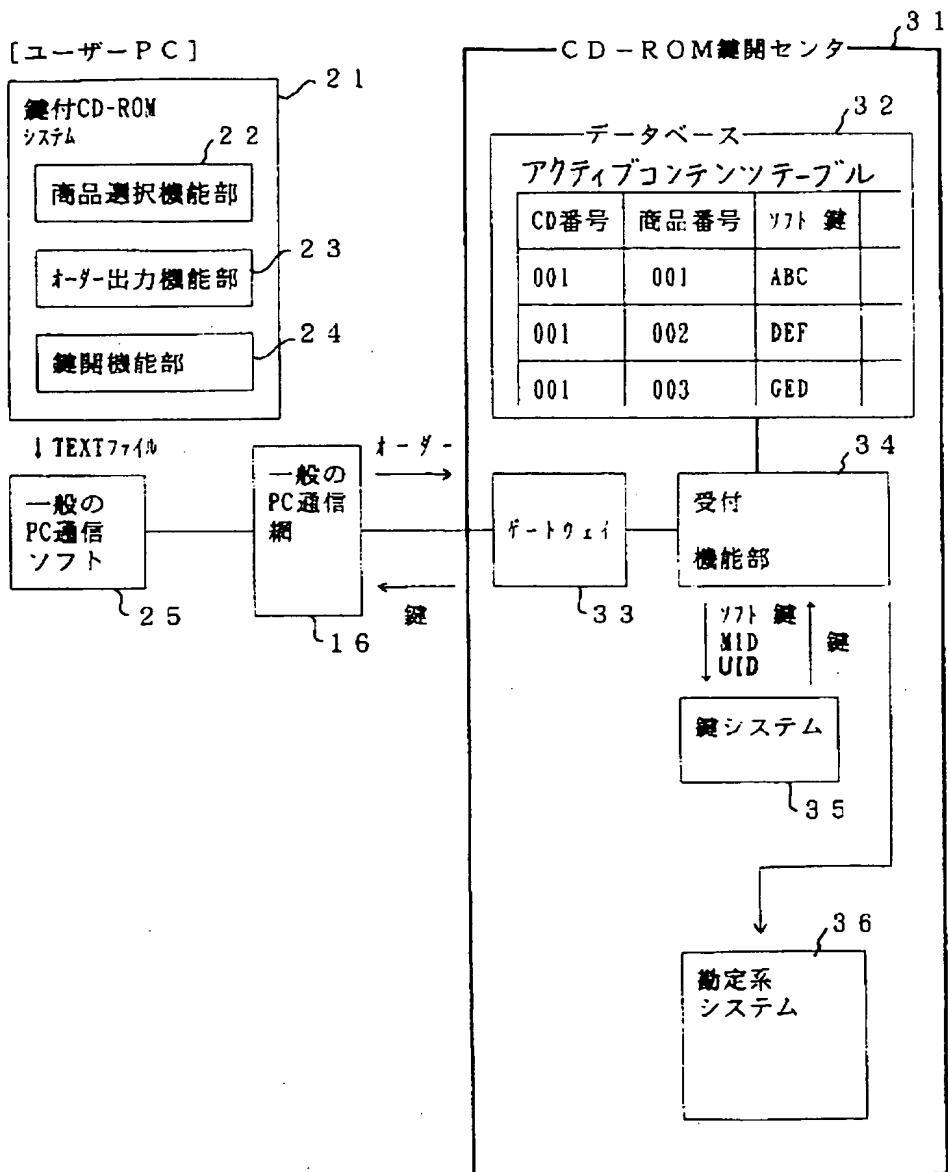
【図2】

CD-ROM ソフトの販売形態を示す図



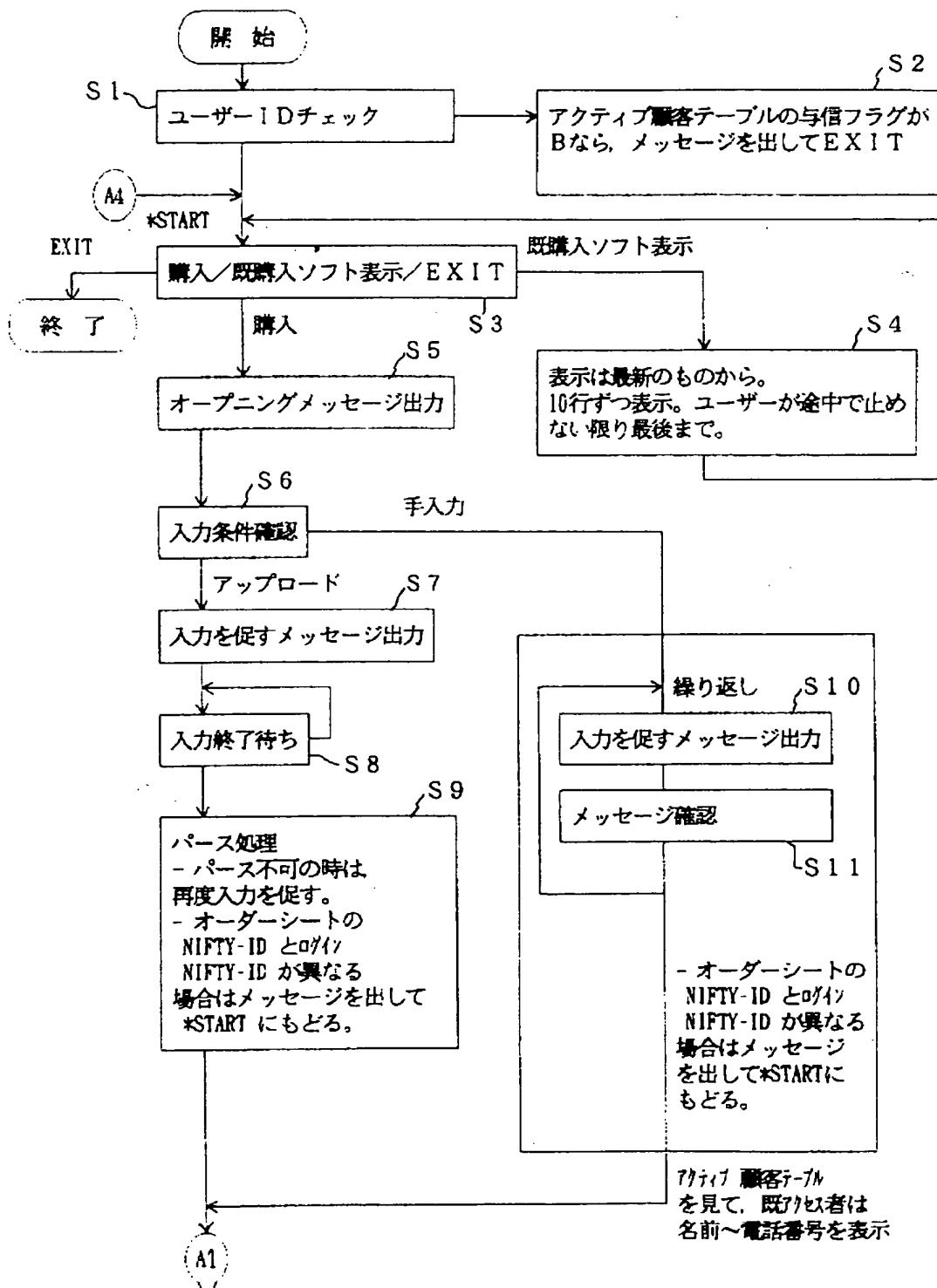
【図3】

システム構成図



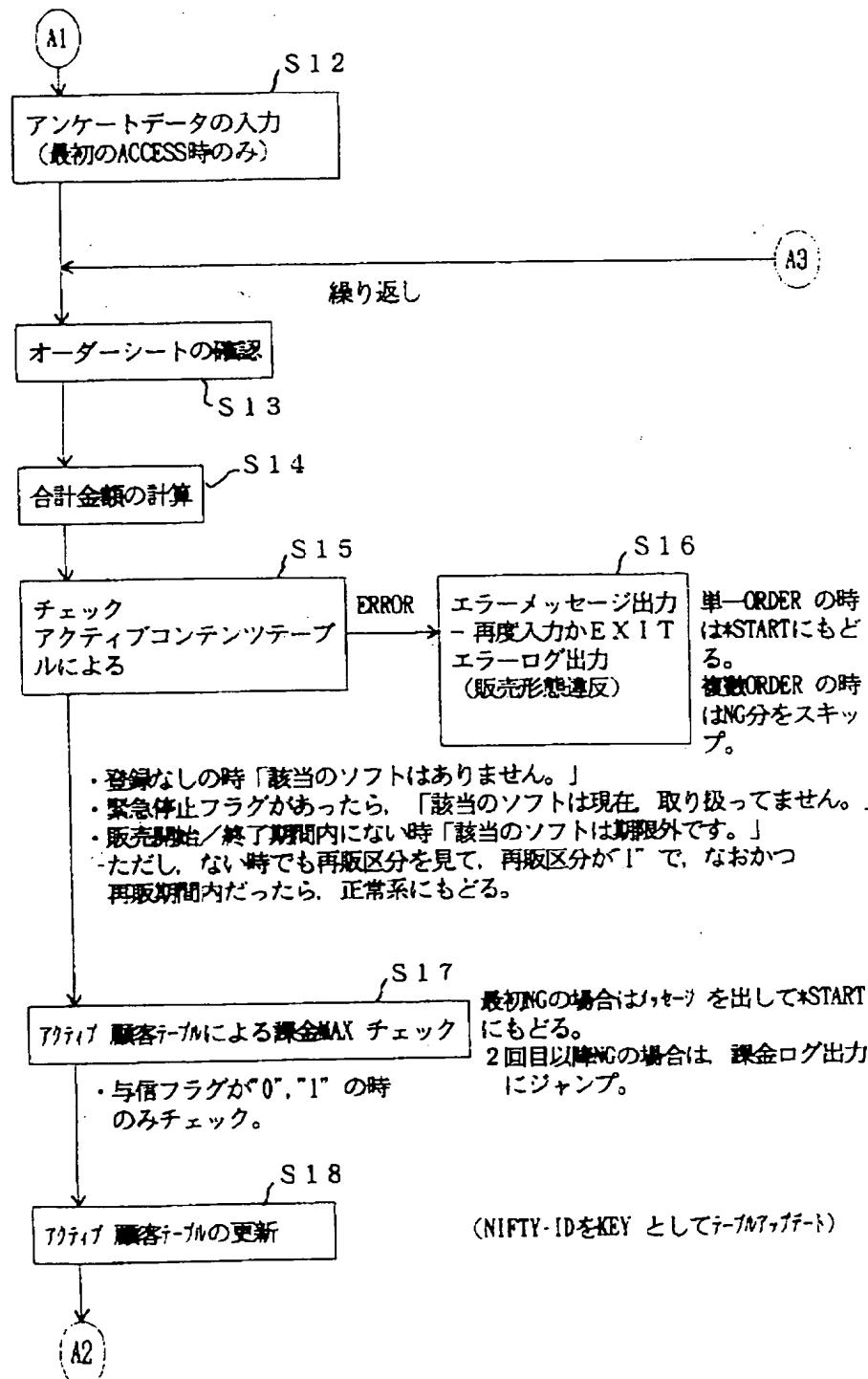
【図4】

CD-ROM鍵開処理のフローチャート(その1)



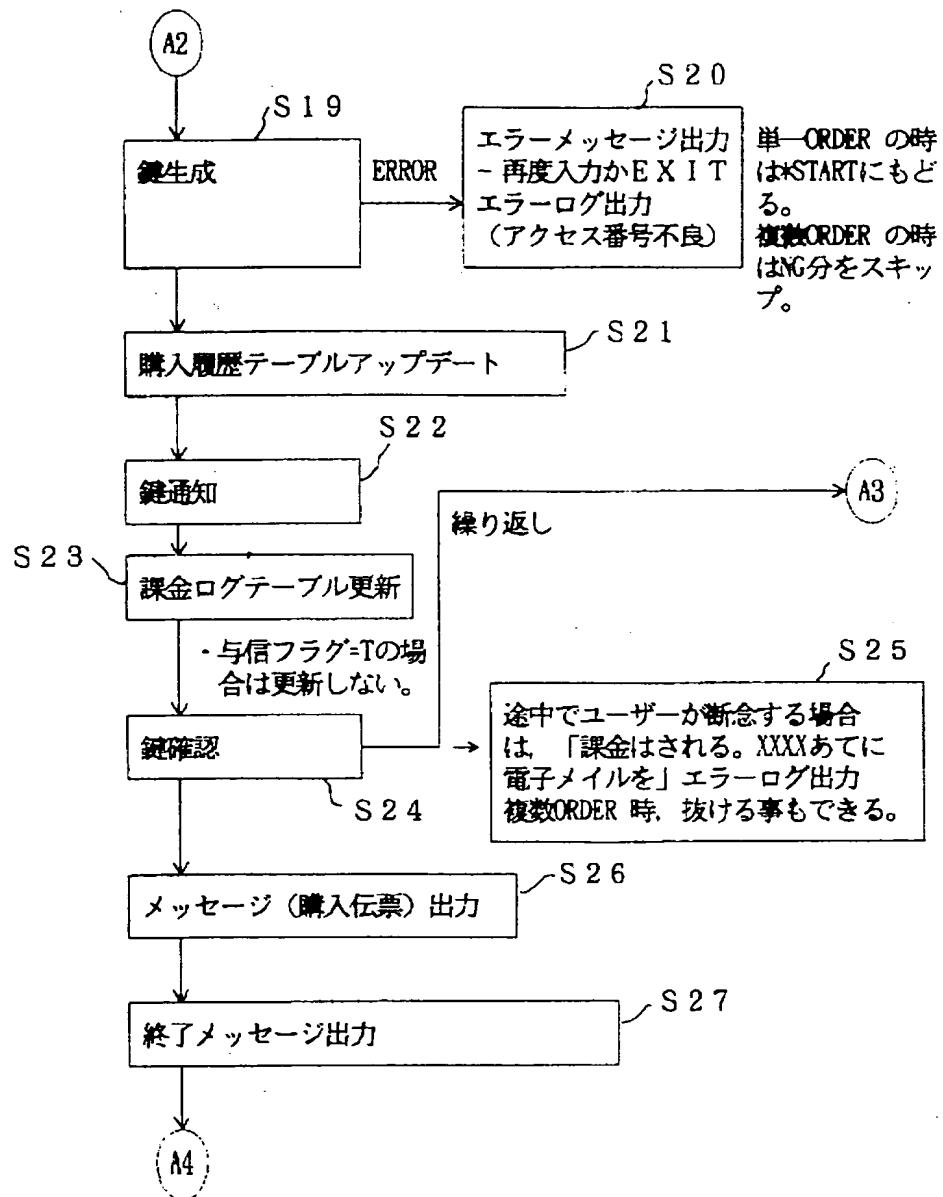
【図5】

CD-ROM鍵開処理のフローチャート(その2)



【図6】

CD-ROM鍵開処理のフローチャート(その3)



【図7】

一般通信ソフト上の表示画面を示す図(その1)

コンピューター、ハードウェア

- 1. PC-TECH
 - 3. PCワークショップ
 - 5. 富士通専門店「アクセス」
 - 7. 電気の総合雑貨店「電気俱楽部」
 - 9. Computer Station "JCS"
 - 11. ソフトクリエイト
 - 13. LAOX/21st century館ダイレクト
 - 15. ソニーショップ・エルコム
 - 17. 「Media Shuttle」
- >17
ようこそ、MediaShuttleサービスへ。

- 2. ソフトランド・旦香通商
- 4. ソフトウェア・ガーデン
- 6. マイクロハウス
- 8. パソコンショップ「満開」
- 10. VAC フロンティア神代ショップ
- 12. DOS/V専門店「ブルースター」
- 14. ピノキオ
- 16. JC-WORLDオンラインショップ

MSHUTTLE(MSH)

- 1. お知らせ
- 2. サービスの使い方
- 3. サービスを受ける

>3
ただいま接続中です。しばらくお待ち下さい。

MediaShuttle にご乗船いただき、ありがとうございます。

さあ、これから MediaShuttle 自慢の機内サービス、

豊富なメニュー、ボリュームたっぷりの各種優良コンテンツ・作品をお楽しみください。
それでは、MediaShuttle 内の作品を、あなたのパソコンにインストールするための
最初の手続きです。

>>>> Have A Nice Trip !!! <<<<

インストールするために必要な導入キー No. を取得される方は 1、
今までに導入キー No. を取得された作品の一覧を表示される方は 2、
ここで手続きを終了される方は 0 をご入力ください。

入力 (1:導入キー No. の取得 2:作品の一覧表示 E:終了)

>1

導入キー No. を取得するための手続きには 2 つの方法があります。/*ここは固定で可*/
(詳しくは CLTJ 95年 8月号の紹介記事をご覧ください。)

既に作った導入ファイルを見て、このまま画面上でキーボード入力される方は 1、

既に作った導入ファイルをテキストアップロードする方法で手続きされる方は 2、

ここで手続きを中止される方は 0 をご入力ください。

入力 (1:キーボード入力 2:テキストアップロード E:中止)

>2

【図9】

一般通信ソフト上の表示画面を示す図(その3)

生年月日を、西暦で入力してください。(改行でスキップ可)

入力例: 1970/01/01

>1966/08/01

生年月日:1966/08/01

確認 (1:OK 2:修正 E:中止)

: 1

性別を選択してください。(改行でスキップ可)

選択肢 1. 男性 2. 女性

>1

性別:1

確認 (1:OK 2:修正 E:中止)

: 1

御使用のパソコンの機種を入力して下さい。(漢字で8文字以内)(改行でスキップ可)

>FM-TOWNS-MX

機種:FM-TOWNS-MX

確認 (1:OK 2:修正 E:中止)

: 1

クレジットカードの種別を入力して下さい。(改行でスキップ可)

クレジットカード種別 (1:JCB 2:DC 3:VISA 4:ミリオン

5:UC 6:CP 7:アメリカン・エキスプレス

8:ダイナース 9:日本信販 10:JACCS

11:オリエント 12:セゾン 13:NIFTY-オリコカード

14:NIFTY-JCBカード)

>1

クレジットカード:1

確認 (1:OK 2:修正 E:中止)

: 1

作品番号を確認いたします。

作品番号 作品名

101 CALC/Win Lite V2.0

確認 (1:OK 2:修正 E:中止)

: 1

【図10】

一般通信ソフト上の表示画面を示す図(その4)

ご依頼の導入キーNo.は下記の通りです。

この導入キーNo.は作品のインストールに必要ですのでメモしておいて下さい。

導入キーNo. 作品名

1234-567-890 CALC/Win Lite V2.0

確認のため導入キーNo.を入力して下さい。

:1234-567-890

確認OKです。

作品番号を確認いたします。

作品番号 作品名

205 MRDB for WindowsV1.1

確認 (1:OK 2:修正 E:中止)

: 1

ご依頼の導入キーNo.は下記の通りです。

この導入キーNo.は作品のインストールに必要ですのでメモしておいて下さい。

導入キーNo. 作品名

1234-567-891 MRDB for WindowsV1.1

確認のため導入キーNo.を入力して下さい。

:1234-567-891

確認OKです。

【図11】

一般通信ソフト上の表示画面を示す図(その5)

今回のご依頼の作品等入リストは下記の通りです。

1. NIFTY-ID : AAAAAAAA
 2. 名前 : 加藤 桂
 3. 郵便番号 : 211
 4. 住所 : 川崎市高津区新作A-A-A
 5. 電話番号 : 044-777-1111
 6. CD番号 : 1234
 7. 7-FIX番号 : 0946-061-121

作品番号	導入キーNo.	作品名
101	1234-567-890	CALC/Win Lite V2.0
205	1234-567-891	MRDB for WindowsV1.1

導入代金(XXX円)はNifty-Server使用料金に加算されてひきおとされます。

御利用ありがとうございました。

41入力 (1:導入キーNo.の取得 2:作品の一覧表示 E:終了)
 >1

【図14】

手入力の場合の表示画面を示す図(その3)

ご依頼の導入キーNo.は下記の通りです。
 この導入キーNo.は作品のインストールに必要ですのでメモしておいて下さい。

導入キーNo. 作品名

1234-567-890 CALC/Win Lite V2.0

確認のため導入キーNo.を入力して下さい。
 :1234-567-890

確認OKです。

さらに導入しますか。
 入力(1:さらに導入 2:導入終了)

:1

作品番号を入力下さい。

～以下略文

【図18】

バージョンアップ済の場合の表示画面を示す図

作品番号を確認いたします。

本ソフトは既にバージョンアップ済です。
 それでもよければ購入願います。

作品番号	作品名
001	CALC/Win Lite V2.0

確認 (1:OK 2:修正 E:中止)
 :E

【図25】

課金ログテーブルのレコードを示す図

レコード名	タイプ
1 NIFTY_ID:	CHAR(8).
2 マシンID:	NUMBER(10).
3 CD番号:	CD_NO CHAR(4).
4 作品番号:	WORK_NO CHAR(3).
5 技番:	BRANCH_NO NUMBER(3).
6 年月日	DATE_YYYYMMDD NUMBER(8).
7 時分秒	TIME_HHMMSS NUMBER(6).
8 購入金額	BUY_MONEY NUMBER(6).
9 クレジット会社種別	CR_COMPANY CHAR(2).
10 クレジット番号	CR_NO CHAR(19).
11 氏名	USR_NAME CHAR(20).
12 性別	SEX CHAR(1). 1桁
13 生年月日	BIRTH_DAY NUMBER(8).
14 年齢	AGE NUMBER(3). 桁
15 使用機種名1	MACHINE_NAME1 CHAR(16).
16 使用機種名2	MACHINE_NAME2 CHAR(16).
17 使用機種名3	MACHINE_NAME3 CHAR(16).
18 使用機種名4	MACHINE_NAME4 CHAR(16).
19 使用機種名5	MACHINE_NAME5 CHAR(16).
20 郵便番号	ZIP_CODE CHAR(6).
21 住所	USR_ADDRESS CHAR(160).
22 電話番号	USR_TEL CHAR(14).
23 フックス番号	ACCESS_NO NUMBER(16).
24 導入キーNo.	INTRO_KEY_NO NUMBER(10)

【図12】

手入力の場合の表示画面を示す図（その1）通信ログ内容の表示画面を示す図

入力 (1:キーボード入力 2:テキストアップロード E:中止)
>1

NIFTY-IDを入力下さい。

>AAAAAAA

NIFTY-ID:AAAAAAA

確認 (1:OK 2:修正 E:中止)

: 1

お名前を入力下さい。

>加藤 念

お名前:加藤 念

確認 (1:OK 2:修正 E:中止)

: 1

CD番号を入力して下さい

>1234

CD番号:1234

確認 (1:OK 2:修正 E:中止)

: 1

アクセス番号を入力下さい。

>0946-061-921

アクセス番号:0946-061-921

確認 (1:OK 2:修正 E:中止)

: 1

生年月日を、西暦で入力してください。(改行でスキップ可)

入力例: 1970/01/01

>1966/08/01

生年月日:1966/08/01

確認 (1:OK 2:修正 E:中止)

: 1

性別を選択してください。(改行でスキップ可)

選択肢: 1. 男性 2. 女性

>1

性別:1

確認 (1:OK 2:修正 E:中止)

: 1

【図21】

A → 今回のご依頼の作品導入リストは下記の通りです。

1. NIFTY-ID : AAAAAAA
2. 名前 : 加藤 念
3. 郵便番号 : 213
4. 住所 : 川崎市高津区新作A-A-A
5. 電話番号 : 044-777-1111
6. CD番号 : 1234
7. ファイ番号 : 0946-061-921

作品番号 埋入ナ一No. 作品名

101	1234-567-890	CALC/Win Lite v2.0
205	1234-567-891	MRDB for Windows v1.1

B → 導入代金(XXXJPY)はNifty-Serve使用料金に加算されてひきおとされます。

【図13】

手入力の場合の表示画面を示す図(その2)

御使用のパソコンの機種を入力して下さい。(漢字で8文字以内)(改行でスキップ可)

>FM-TOWNS-MX

機種:FM-TOWNS-MX

確認 (1:OK 2:修正 E:中止)

: 1

クレジットカードの種別を入力して下さい。(改行でスキップ可)

クレジットカード種別 (1:JCB 2:DC 3:VISA 4:ミリオン

5:UC 6:CF 7:アメリカン・エキスプレス

8:ダイナース 9:日本信販 10:JACCS

11:オリエント 12:セゾン 13:NIFTY-オリコカード

14:NIFTY-JCBカード)

> 1

クレジットカード: 1

確認 (1:OK 2:修正 E:中止)

: 1

作品番号を入力下さい。

> 101

作品番号を確認いたします。

作品番号	作品名
101	CALC/Win Lite V2.0

確認 (1:OK 2:修正 E:中止)

: 1

【図15】

既知情報を省略する場合の表示画面を示す図

入力 (1:キーボード入力 2:テキストアップロード E:中止)
> 1

NIFTY-IDを入力下さい。

> AAAAAAAA

NIFTY-ID:AAAAAAA

確認 (1:OK 2:修正 E:中止)
: 1

以下の確認をお願いします。

- (1) NIFTY-ID:AAAAAAA
- (2) お名前:加藤 稔
- (3) 郵便番号:213
- (4) 住所:川崎市高津区新作A-A-A
- (5) 電話番号:044-777-1111
- (6) CD番号:1234
- (7) アクセス番号:0946-061-921

確認 (1:OK 2:修正 E:中止)
: 1

作品番号を入力下さい。

> 101

作品番号を確認いたします。

作品番号	作品名
101	CALC/Win Lite V2.0

確認 (1:OK 2:修正 E:中止)

: 1

【図16】

送信メールと受信メールを示す図

SUB: 録付CD-ROMオーダー
TO: CDROMHOST

送信メール

```
<NIFTY-ID>AAAAAAA</NIFTY-ID> /*必須*/
<NAME>加藤 念</NAME>
<ZIP>213</ZIP>
<ADDR>川崎市高津区新作A-A-A</ADDR>
<TEL>044-777-1111</TEL>
<CDNO>1234</CDNO> /*必須*/
<ACCCNO>0946-061-921</ACCCNO> /*必須*/
<PN0>101</PN0> /*必須*/
<PN0>205</PN0>
/E
```

受信メール

加藤 念殿

ご導入の作品の導入キーNo.は下記の通りです。

作品番号	導入キーNo.	作品名
101	1234-567-890	CALC/Win Lite V2.0
205	1234-567-891	MRDB for WindowsV1.1

【図19】

録番号の確認のための表示画面を示す図

ご依頼の導入キーNo.は下記の通りです。
この導入キーNo.は作品のインストールに必要ですのでメモしておいて下さい。

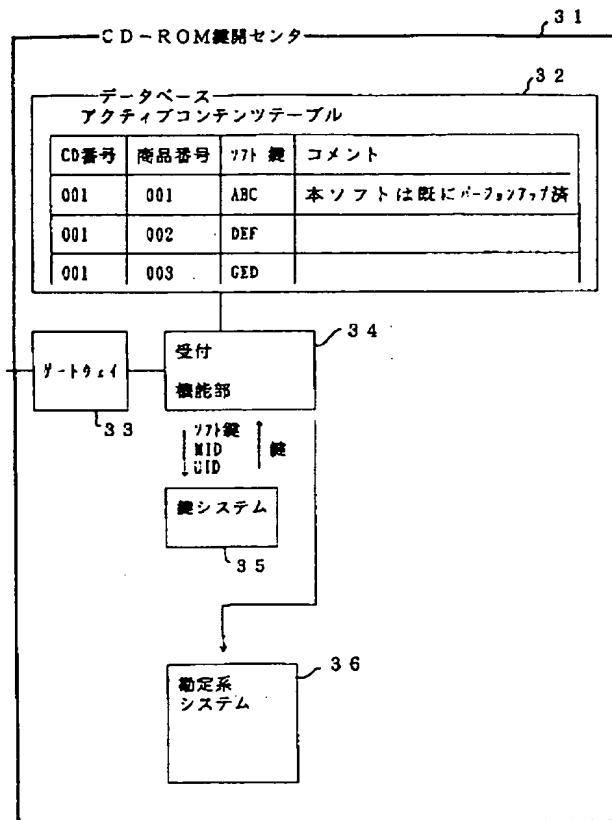
導入キーNo.	作品名
1234-567-890	CALC/Win Lite V2.0

確認のため導入キーNo.を入力して下さい。
:1234-567-890

確認OKです。

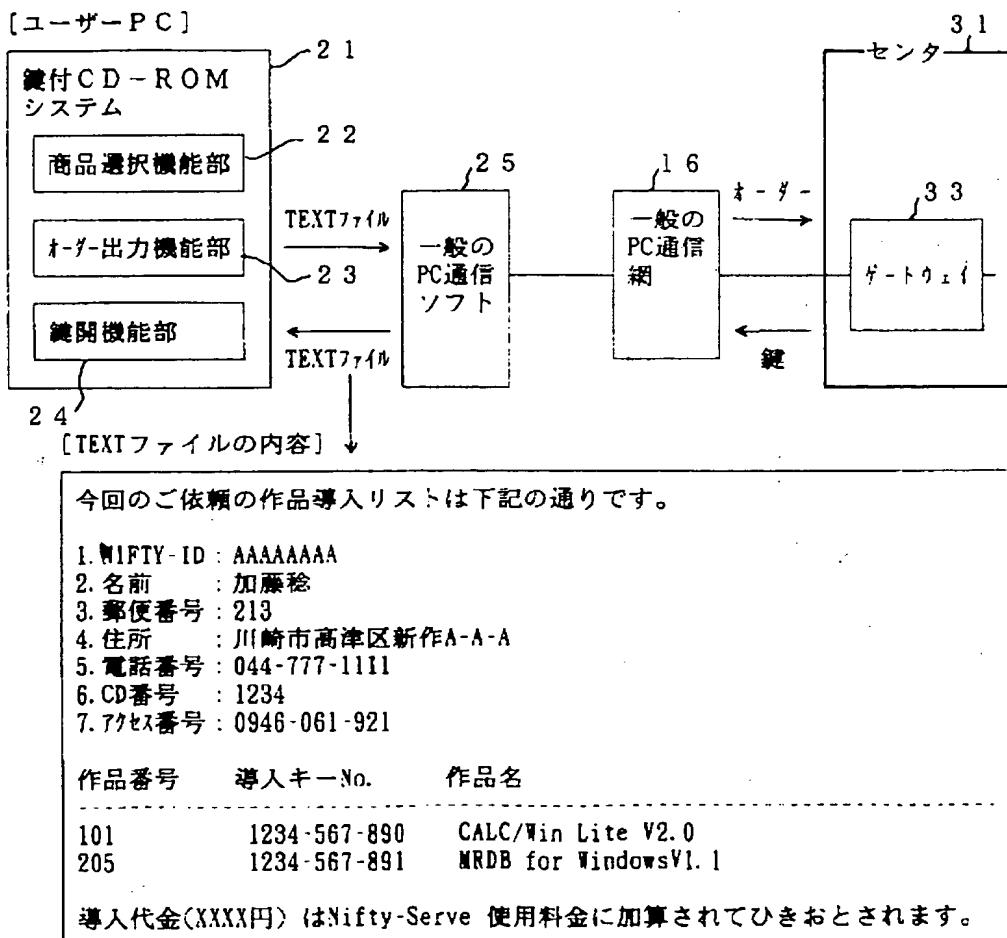
【図17】

ソフト毎の情報を示す図



【図20】

鍵番号をファイルに記憶する場合を示す図



【図22】

アクティブコンテンツテーブルのレコードを示す図

レコード名 タイプ	
1 CD番号:	CD_NO CHAR(4).
2 作品番号:	WORK_NO CHAR(3).
3 作品略称:	WORK_ADDREV CHAR(60).
4 照会用商品説明:	GOODS_EXPLAN CHAR(80).
5 企画シーケンスNo:	PLAN_NO NUMBER(3).
6 販売価格新:	NEW_PRICE NUMBER(6).
7 販売価格旧:	OLD_PRICE NUMBER(6).
8 価格切替年月日:	PRICE_CHG_YYYYMMDD NUMBER(8).
9 プロバイダ略称:	PROVIDER CHAR(50). /*操作の必要なし*/
10 緊急販売停止区分:	URGENCY_STOP CHAR(1).
11 販売開始年月日:	START_YYYYMMDD NUMBER(8).
12 販売開始時分秒:	START_HHMMSS NUMBER(6).
13 販売終了年月日:	STOP_YYYYMMDD NUMBER(8).
14 販売終了時分秒:	STOP_HHMMSS NUMBER(6).
15 再販区分:	AGAIN_START CHAR(1).
16 再販開始年月日:	AGAIN_START_YYYYMMDD NUMBER(8).
17 再販開始時分秒:	AGAIN_START_HHMMSS NUMBER(6).
18 再販終了年月日:	AGAIN_STOP_YYYYMMDD NUMBER(8).
19 再販終了時分秒:	AGAIN_STOP_HHMMSS NUMBER(6).
20 ソフト鍵:	SOFT_KEY CHAR(8).
21 登録年月日:	REGIST_YYYYMMDD NUMBER(8).
22 更新年月日:	UPDATE_YYYYMMDD NUMBER(8).
23 更新時分秒:	UPDATE_HHMMSS NUMBER(6).
24 更新者コード:	UPDATE_PCODE CHAR(5). /*操作の必要なし*/
25 販売区分:	SALE_CLASS CHAR(1). /*操作の必要なし*/
26 販売形態区分:	SALE_FORM CHAR(2).
27 販売戦略区分:	SALE_STRTGY CHAR(1). /*操作の必要なし*/
28 販売戦略詳細区分:	SALE_STRTGY_DTL CHAR(1) /*操作の必要なし*/

【図24】

アクティブ顧客テーブルのレコードを示す図

```

レコード名 タイプ
1 NIFTY_ID: NIFTY_ID CHAR(8) UNIQUE,
2 クレジット種別:CR_CARD CHAR(2),
3 クレジット番号:CR_NO CHAR(19),
4 氏名:USR_NAME CHAR(20), 10桁
5 郵便番号:ZIP_CODE CHAR(6), 6桁
6 住所:USR_ADDRESS CHAR(160),
7 電話番号:USR_TEL CHAR(14), 14桁
8 使用機種名1: MACHINE1 CHAR(16), 8桁
9 使用機種名2: MACHINE2 CHAR(16), 8桁
10 使用機種名3: MACHINE3 CHAR(16), 8桁
11 使用機種名4: MACHINE4 CHAR(16), 8桁
12 使用機種名5: MACHINE5 CHAR(16), 8桁
13 生年月日: BIRTH_DAY NUMBER(8), 桁
14 年齢: AGE NUMBER(3), 3桁
15 性別: SEX NUMBER(1), 1桁
16 与信フラグ: YOSHIN_FLAG CHAR(1), 桁
17 与信件新: NEW_YOSHIN NUMBER(7),
18 与信件旧: OLD_YOSHIN NUMBER(7),
19 与信切替年月日: YOSHIN_CHG_YYYMMDD NUMBER(8), /*DEFAULTはアクセス日付*/
20 前月購入金額: LAST_MONTH_MONEY NUMBER(8),
21 当月購入金額: MONTH_MONEY NUMBER(8),
22 購入金額切替日: BUY_CHG_YYYMMDD NUMBER(8), /*使用せず*/
23 更新年月日: UPDATE_YYYYMMDD NUMBER(8), /*DEFAULTは空.操作の必要なし*/
24 更新時分秒: UPDATE_MMSS NUMBER(6), /*DEFAULTは空.操作の必要なし*/
25 更新者コード: UPDATE_PCODE CHAR(8) /*DEFAULTは空.操作の必要なし*/

```

フロントページの統合

(51) Int.C1.	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 13/00	3 5 1	9460-5E	G 0 6 F 13/00	3 5 1 A
G 0 9 C 1/00	6 3 0	7259-5J	G 0 9 C 1/00	6 3 0 Z
	6 6 0	7259-5J		6 6 0 D
H 0 4 L 9/10			H 0 4 M 11/08	
H 0 4 M 11/08			H 0 4 L 9/00	6 2 1 Z

621A

THIS PAGE BLANK (USPTO)